

2025 年 10 月 3 日

シブサワ・アンド・カンパニー株式会 代表取締役

渋谷 健

第 37 回「新しい資本主義実現会議」コメント

「新しい資本主義」とは、

日本の新しい時代における課題を解決する「インパクト」を意図とする資本主義である。

I.デフレ→インフレ

- ◎ 33 年ぶりの高水準となった昨年を上回る賃上げを実現。
- ◎ NISA の抜本的拡充・恒久化で口座数・総買付額が過去最高を更新
 - ・株式市場の高値更新で大勢の国民の資産形成につながった。

II.人口動態の激変 → 高齢少子化の加速

- ◎ 外国人労働者の存在：2025 年改訂版→「外国人材の受入れに関する制度整備」
 - ・地域金融機関も外国人労働者の動員に注力
 - ・外国人材増「賛成」9 割超【日本経済新聞 2025/10/1】
 - ・日本は「和」の国 ― 和して同ぜず
- ◎ むやみに財政に頼る体質は国力の衰退を招く
 - ・通貨安状態は国の信用力の低下 → 国民生活の物価高、国内資産の相対価値減
 - ・2025 年改訂版→「財政健全化、ワイズ・スペンディングの徹底」

III.世界における日本

- ◎ 混沌とした世の中において、以前は頼れた国が頼れなくなり、日本へ期待が高まっている
- ◎ 「日本は、これからも国際社会と共に歩んでまいります。決して揺らぐことなく、取組の先頭に立ち続けてまいります。」【国連総会における石破総理大臣一般討論演説】